

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 線虫化学コミュニケーションの理解と寄生線虫防除への応用
2. 研究代表者： 新屋 良治（明治大学 農学部 専任准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

世界的なマツ枯れの原因であるマツノザイセンチュウの、性フェロモンを利用した安全な防除法の開発を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ1では、遺伝学的な解析によりマツノザイセンチュウの揮発性フェロモンとその嗅覚受容体候補を得たことに加え、日本の野外でマツノザイセンチュウと無害なニセマツノザイセンチュウの雑種が存在することを確認したことは大いに評価できる。フェーズ2は、嗅覚受容体スクリーニング系の確立、マツ枯れ抑止効果の確認など、多角的かつ挑戦的な計画が立てられており、大いに期待できる。

以上